

令和7年12月議会 議案説明資料

ページ

○予算議案

- | | | |
|---|---|----|
| 1 | 令和7年12月 補正予算案 経済観光文化局集計表 | 1 |
| 2 | 議案第189号
令和7年度福岡市一般会計補正予算案（第3号） | 3 |
| 3 | 議案第259号
令和7年度福岡市一般会計補正予算案（第4号） | 11 |

○一般議案

- | | | |
|---|---|----|
| 4 | 議案第218号
福岡市産学連携交流センターに係る指定管理者の指定について | 21 |
| 5 | 議案第219号
はかた伝統工芸館に係る指定管理者の指定について | 26 |
| 6 | 議案第253号
土地及び建物の貸付けについて | 33 |

経済観光文化局

1 令和7年12月 補正予算案 経済観光文化局集計表

(1)議案第189号 令和7年度一般会計補正予算案(第3号)

(単位:千円)

補正前の額 (A)					
歳入	歳出	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国県支出金	市債	その他	
179,402,599	199,839,121	1,609,141	5,336,000	172,457,458	20,436,522

(単位:千円)

補正額 (B)					
歳入	歳出	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国県支出金	市債	その他	
1,224	138,969	—	—	1,224	137,745

(単位:千円)

補正後 (C) : (A)+(B)					
歳入	歳出	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国県支出金	市債	その他	
179,403,823	199,978,090	1,609,141	5,336,000	172,458,682	20,574,267

(2)議案第259号 令和7年度一般会計補正予算案(第4号)

(単位:千円)

補正前の額 (C)					
歳入	歳出	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国県支出金	市債	その他	
179,403,823	199,978,090	1,609,141	5,336,000	172,458,682	20,574,267

(単位:千円)

補正額 (D)					
歳入	歳出	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国県支出金	市債	その他	
2,966,624	2,966,624	2,966,624	—	—	—

(単位:千円)

補正後 (E) : (C)+(D)					
歳入	歳出	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国県支出金	市債	その他	
182,370,447	202,944,714	4,575,765	5,336,000	172,458,682	20,574,267

2 議案第189号 令和7年度 福岡市一般会計補正

(歳 入)

予算案 説明書 ページ	款・項	目	補正前の額	補 正 額	計
			千円	千円	千円
4	(25) 諸収入				
	2. 保険料収入	1. 保険料収入	38,563	1,224	39,787
その他の科目 (本補正外)			179,364,036	—	179,364,036
歳入 合計			179,402,599	1,224	179,403,823

予算案（第 3 号）＜経済観光文化局所管分＞

説 明	
	千円
1. 雇用保険法に基づく保険料収入の追加	159
2. 厚生年金保険法に基づく保険料収入の追加	1,065

(歳 出)

予算案 説明書 ページ	款・項	目	補正前の額	補 正 額	計
			千円	千円	千円
48 ↳ 51	(7) 経済観光文化費 1. 商工費	1. 商工総務費	1,173,542	50,120	1,223,662
		2. 商工業振興費	9,028,213	5,561	9,033,774
50 ↳ 53	2. 観光費	1. 観光費	5,730,573	11,570	5,742,143

説 明

千円

○ 一般職職員給与費等の追加

50,120

区 分	補正前の額	補 正 額	計
給料	530,046	13,065	543,111
職員手当等	446,514	39,873	486,387
共済費	195,475	△2,818	192,657
計	1,172,035	50,120	1,222,155

○ 一般職職員給与費等の追加

5,561

区 分	補正前の額	補 正 額	計
報酬	37,934	1,903	39,837
給料	23,787	1,347	25,134
職員手当等	27,929	1,727	29,656
共済費	23,795	584	24,379
計	113,445	5,561	119,006

関連歳入
(25) 諸収入

雇用保険料収入

25

厚生年金保険料収入

184

○ 一般職職員給与費等の追加

11,570

区 分	補正前の額	補 正 額	計
報酬	14,239	508	14,747
給料	201,298	4,787	206,085
職員手当等	163,119	8,496	171,615
共済費	77,106	△2,221	74,885
計	455,762	11,570	467,332

関連歳入
(25) 諸収入

雇用保険料収入

7

厚生年金保険料収入

52

52 55	3. 文化費	1. 文化振興費	5,661,312	36,473	5,697,785
		2.ミュージアム費	5,098,744	7,358	5,106,102
		3. 文化財費	3,491,737	27,887	3,519,624
その他の科目（本補正外）			169,655,000	—	169,655,000
歳出 合計			199,839,121	138,969	199,978,090

○ 一般職職員給与費等の追加

36,473

区 分	補正前の額	補 正 額	計
報酬	2,578	130	2,708
給料	552,429	12,280	564,709
職員手当等	441,907	27,324	469,231
共済費	207,134	△3,261	203,873
計	1,204,048	36,473	1,240,521

関連歳入

(25) 諸収入

雇用保険料収入

30

厚生年金保険料収入

313

○ 一般職職員給与費等の追加

7,358

区 分	補正前の額	補 正 額	計
報酬	68,828	3,618	72,446
給料	14,272	808	15,080
職員手当等	34,489	2,181	36,670
共済費	32,153	751	32,904
計	149,742	7,358	157,100

関連歳入

(25) 諸収入

雇用保険料収入

38

厚生年金保険料収入

237

○ 一般職職員給与費等の追加

27,887

区 分	補正前の額	補 正 額	計
報酬	314,749	17,677	332,426
給料	108,463	6,057	114,520
職員手当等	54,158	3,155	57,313
共済費	39,477	998	40,475
計	516,847	27,887	544,734

関連歳入

(25) 諸収入

雇用保険料収入

59

厚生年金保険料収入

279

(繰越明許費)

予算案 説明書 ページ	款	項	目	事業名
192 ↳ 195	(7) 経済観光文化費	2. 観光費	1. 観光費	MICE 施設整備事業
				海辺を活かした観光振興事業
				福岡城・鴻臚館における 観光振興事業
		3. 文化費	1. 文化振興費	福岡サンパレス 維持補修経費
				アートのまちづくり推進事業
			2. ミュージアム費	施設 美術 館業

関係予算額	繰越額		繰越事由
	補正前	補正後	
千円 2,574,870	千円 —	千円 176,604	工期の都合により、年度内に完了しないため。 (繰越の内容) ・マリンメッセ福岡A館垂直搬送機設置工事等
213,297	—	71,954	工期の都合により、年度内に完了しないため。 (繰越の内容) ・二見ヶ浦エリアにおける立ち寄りスポット関連工事
91,139	—	19,998	工期の都合により、年度内に完了しないため。 (繰越の内容) ・三の丸スクエア(旧舞鶴中)2階トイレ改修工事
148,744	—	80,000	工期の都合により、年度内に完了しないため。 (繰越の内容) ・福岡サンパレス第二電気室等更新工事
523,917	—	337,523	工期の都合により、年度内に完了しないため。 (繰越の内容) ・アーティストカフェフクオカ(旧舞鶴中)外壁改修及び拡充改修工事等
765,384	—	89,117	工期の都合により、年度内に完了しないため。 (繰越の内容) ・福岡アジア美術館あじびホール照明更新工事

3 議案第259号 令和7年度 福岡市一般会計

(歳 入)

予算案 説明書 ページ	款・項	目	補正前の額	補 正 額	計
	(19) 国庫支出金		千円	千円	千円
3	2. 国庫補助金	12. 緊急経済対策費 国庫補助金	443,309	2,966,624	3,409,933
その他の科目 (本補正外)			178,960,514	—	178,960,514
歳入 合計			179,403,823	2,966,624	182,370,447

補正予算案（第４号）＜経済観光文化局所管分＞

説 明	
	千円
○ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加	2,966,624

(歳 出)

予算案 説明書 ページ	款・項	目	補正前の額	補 正 額	計
			千円	千円	千円
10 5 13	(7) 経済観光文化費 1. 商工費	2. 商工業振興費	9,033,774	2,966,624	12,000,398
その他の科目 (本補正外)			190,944,316	—	190,944,316
歳出 合計			199,978,090	2,966,624	202,944,714

説 明

千円

○ 経済支援策の追加 2,966,624

	事業	補正前の額	補正額	計
P18	燃料費等高騰の影響を受けた事業者支援	—	790,000	790,000
P19	全市版プレミアム付商品券事業	—	1,500,000	1,500,000
P20	商店街プレミアム付商品券事業	443,309	676,624	1,119,933

関連歳入

(19)国庫支出金

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

2,966,624

(繰越明許費)

予算案 説明書 ページ	款	項	目	事業名
24 ↳ 25	(7) 経済観光文化費	1. 商 工 費	2. 商工業振興費	燃 料 費 等 高 騰 の 影 響 を 受 け た 事 業 者 支 援
				全 市 販 プ レ ミ ア ム 付 商 品 券 事 業
				商 店 街 プ レ ミ ア ム 付 商 品 券 事 業

関係予算額	繰越額		繰越事由
	補正前	補正後	
千円 790,000	千円 —	千円 790,000	事業実施期間の都合により、年度内に完了しないため。 (繰越の内容) ・燃料費等高騰の影響を受けた事業者の支援
1,500,000	—	1,500,000	事業実施期間の都合により、年度内に完了しないため。 (繰越の内容) ・全市版プレミアム付商品券事業
1,119,933	—	676,624	事業実施期間の都合により、年度内に完了しないため。 (繰越の内容) ・商店街プレミアム付商品券事業

物価高騰対策について

1 基本的な考え方

- 本市経済については、緩やかな回復基調にあるものの、物価高騰の影響が長期化している。
- 物価高騰については、国により全国的な対策が実施されていることから、市は、国等の対策を補完するため、市内事業者が国の補助等をしっかりと活用できるよう情報発信や経営相談等を実施するとともに、市内需要の喚起、市内中小企業の生産性向上等に取り組んでいる。
- これらの事業の着実な推進に加え、追加される国の重点支援地方交付金を活用し、燃料費等高騰の影響を受けた事業者を支援するとともに、プレミアム付商品券による更なる市内需要の喚起を行い、引き続き、市内中小企業の事業継続や雇用を支えていく。

2 支援策

- (1) 燃料費等高騰の影響を受けた事業者支援
- (2) 全市版プレミアム付商品券事業
- (3) 商店街プレミアム付商品券事業

3 支援策の概要

(1) 燃料費等高騰の影響を受けた事業者支援 【商工費 790,000 千円】

ア. 事業概要

燃料費等高騰の影響が長期化していること等を踏まえ、物価高騰により影響を受けた市内中小企業等の事業継続と雇用を支えるため、令和7年7月から9月分及び令和8年1月から3月分について、燃料費及び光熱費の価格高騰分の一部を支援するもの。

イ. 支援内容

対象期間	令和7年7月～9月、令和8年1月～3月 (6カ月分)	
支援内容	影響額の1/2、上限60万円	
支援金額 (単価) ※国・県の支援を除いた 価格高騰影響額の1/2	電気	0.2 円/kwh
	都市ガス	11 円/m ³
	ガソリン 軽油 重油 灯油	9 円/L
	L P ガス	38.5 円/m ³
	オートガス	6.5 円/L

ウ. スケジュール

申請受付開始 令和8年3月下旬

(2) 全市版プレミアム付商品券事業

【商工費 1,500,000 千円】

ア. 事業概要

域内経済の活性化に向けた消費喚起と物価高騰対策の取組みとして、福岡商工会議所、早良商工会及び志賀商工会が共同で実施する全市版プレミアム付電子商品券事業を支援するもの。

イ. 対象事業者

福岡商工会議所、早良商工会及び志賀商工会

ウ. 支援内容

○発行予定額	12,000,000 千円
○販売予定額	10,000,000 千円
○市の支援額	1,500,000 千円
	〔プレミアム分 1,000,000 千円〕
	〔事務経費等 500,000 千円〕
○プレミアム率	販売額の 20% (福岡県 10%、福岡市 10%)
○使用可能店舗数	約 7,000 店舗 ※市内の希望する店舗
○販売対象	市内居住者、市内への通勤者または通学者及び観光客等 ※市内居住者優先を検討
○利用期間	令和 8 年 3 月下旬から令和 8 年 9 月下旬

エ. スケジュール

利用可能店舗募集・登録	令和 8 年 2 月
商品券販売・使用開始	3 月下旬

(3) 商店街プレミアム付商品券事業

【商工費 676,624 千円】

ア. 事業概要

域内経済の活性化に向けた消費喚起と物価高騰対策の取組みとして、福岡商工会議所が実施する商店街プレミアム付商品券事業を支援するもの。

イ. 対象事業者

市内商店街組織等

ウ. 支援内容

○発行予定額	約 6,000,000 千円				
○販売予定額	約 5,000,000 千円				
○市の支援額	676,624 千円				
	<table><tr><td>プレミアム分</td><td>504,248 千円</td></tr><tr><td>事務経費等</td><td>172,376 千円</td></tr></table>	プレミアム分	504,248 千円	事務経費等	172,376 千円
プレミアム分	504,248 千円				
事務経費等	172,376 千円				
○プレミアム率	販売額の 20% (福岡県 10%、福岡市 10%)				
○発行団体予定数	約 60 団体				
○販売対象	主に市内居住者				
○利用期間	令和 8 年 7 月から令和 8 年 12 月				

エ. スケジュール

商店街からの申請受付開始	令和 8 年 4 月
商品券販売・使用開始	7 月以降順次

4 議案第 218 号

福岡市産学連携交流センターに係る指定管理者の指定について

1 議案提出の理由

本市が設置する福岡市産学連携交流センターの管理を行わせる指定管理者を指定することについて、地方自治法第 244 条の 2 第 6 項の規定により議会の議決を求めるものである。

2 議案の内容

(1) 指定管理者に管理を行わせる公の施設

福岡市産学連携交流センター

(2) 指定管理者に指定する者

西鉄ビルマネジメント・TOPPAN 共同事業体

(西鉄ビルマネジメント株式会社
TOPPAN 株式会社)

代表者：西鉄ビルマネジメント株式会社

代表取締役社長 高松 健司

①西鉄ビルマネジメント株式会社

代表取締役社長 高松 健司

ア 設 立 年 月 日：昭和 62 年 7 月 1 日

イ 所 在 地：福岡市中央区今泉一丁目 12 番 23 号

ウ 主な事業内容：建物設備管理業、建物清掃衛生管理業、警備業、
不動産及び駐車場の管理・仲介業

②TOPPAN 株式会社

代表取締役社長 大矢 諭

ア 設 立 年 月 日：令和 5 年 3 月 1 日

イ 所 在 地：東京都台東区台東一丁目 5 番 1 号

ウ 主な事業内容：情報・生活・エレクトロニクス関連事業

(3) 指定する期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで（5 年間）

3 公募及び選定の概要

(1) 主な業務の内容

①施設の運営に関すること

②施設の維持管理及び修繕等に関すること

③産学連携交流による研究開発及びその成果の実用化又は事業化の推進に関すること

(2) 主な応募資格

①法人その他の団体（以下「法人等」という。）又は法人等で構成する共同事業体であること。

②所得税、法人税、消費税、地方消費税及び本市市税の滞納がないこと。

③法人等及びその代表者が、暴力団関係者ではないこと。

(3) 応募者

1 団体

- ・西鉄ビルマネジメント・TOPPAN 共同事業体

(4) 福岡市産学連携交流センター指定管理者選定・評価委員会

選定委員 5 名

- ・[外部有識者] 池田 祐香 (役職名: アテナ税理士法人代表社員)
- ・[外部有識者] 香月 啓佑 (役職名: Fukuoka Growth Next 運営委員会副事務局長)
- ・[外部有識者] 中野千亜希 (役職名: (独) 中小企業基盤整備機構九州本部支援推進課長)
- ・[外部有識者] 古橋 寛史 (役職名: 九大 OIP 株式会社執行役員)
- ・[外部有識者] 道岡 隆 (役職名: (公財) 九州大学学術研究都市推進機構事務局長)

(5) 募集・選定経過

- | | |
|-------------|--|
| ①第 1 回選定委員会 | 令和 7 年 8 月 7 日
(公募要項、評価基準・方法及び業務仕様書の確認) |
| ②公募要項配布期間 | 令和 7 年 8 月 14 日から令和 7 年 9 月 30 日まで |
| ③現地説明会 | 令和 7 年 8 月 22 日 |
| ④質問の受付期間 | 令和 7 年 8 月 14 日から令和 7 年 8 月 28 日まで |
| ⑤質問の回答 | 令和 7 年 9 月 11 日 |
| ⑥応募書類の受付期間 | 令和 7 年 9 月 16 日から令和 7 年 9 月 30 日まで |
| ⑦第 2 回選定委員会 | 令和 7 年 10 月 14 日 (応募者ヒアリング、選定) |

(6) 指定管理料の上限額

令和 8 年度: 56,742 千円

4 評価基準・選定結果

(1) 評価基準

審査項目・評価基準		配点
1	運営の総合的な方針	15点
	(1) 施設の目的を踏まえた運営方針、理念意欲	5
	(2) 管理運営を維持できる安定的な経営基盤、リスク回避方策	5
	(3) 根拠（参考事例や他施設の実績等）がある実行可能性の高い計画となっているか	5
2	施設の管理運営に関する事項	30点
	(1) 管理運営の実施体制（配置する人材、組織体制、研修体制等）	5
	(2) 施設の保守点検、清掃、警備、修繕及び維持管理や分析機器室の管理方法等の提案	5
	(3) 化学系施設の管理における法規制等の理解、利用者の相談対応及び的確な指導などへの取組み	10
	(4) 利用者の利便性向上における取組み	5
	(5) 事故等の防止に係る安全対策、事故発生後の対応、災害対策	5
3	産学連携交流による研究開発及びその成果の実用化又は事業化の推進	40点
	(1) 産学連携交流による研究開発及びその成果の実用化又は事業化の推進に関する提案	10
	(2) 各入居者等の事業段階における支援に関する提案	10
	(3) 大学発の技術やイノベーションの早期事業化を通じた、地域エコシステム形成の促進に関する提案	10
	(4) 入居者の情報収集及び的確な情報発信に関する提案	10
4	収支計画	10点
	(1) 指定管理料の金額	5
	(2) 収支計画書の妥当性	5
5	市施策への寄与	5点
	(1) 市内に主たる事務所を有しているか	3
	(2) 社会貢献優良企業に認定されているか	2
総合評価（100点満点）		

(2) 主な提案内容

- ・「安全・安心・快適」な施設管理運営
- ・メンタリング、VC等とのビジネスマッチングなど、入居企業のニーズや成長段階に応じた取組みの実施
- ・国内外 VC、事業会社向け専門メディア（Web）での情報発信など、入居企業の PR に繋がる取組みの実施
- ・地域住民との交流イベントの開催
- ・いと Lab+、Fukuoka Growth Next との連携強化

(3) 選定結果

下記選定委員会の評価を踏まえ、西鉄ビルマネジメント・TOPPAN 共同事業体を指定管理者の候補者としたものである。

応募団体名	評価基準	委員別評価点					平均	主な評価内容
		A	B	C	D	E		
<p><指定候補者> 西鉄ビルマネジメント・TOPPAN 共同事業体</p> <p>提案額 56,742千円</p>	1 運営の総合的な方針	11	12	13	10	12	11.6	・施設管理業務については、これまでの実績と経験があり、高評価。
	2 施設の管理運営に関する事項	18	18	18	22	20	19.2	・スタートアップ支援については、様々な取組みが提案されており、意欲も十分にあることから、期待できる。
	3 産学連携交流による研究開発及びその成果の実用化又は事業化の促進	24	30	30	24	28	27.2	・広報については、ホームページの強化や SNS の活用など、さらなる情報発信に努めてほしい。
	4 収支計画	8	8	9	8	8	8.2	・イベント開催費用の節減に向けた創意工夫は評価できる。持続可能なものとなるよう取り組んでほしい。
	5 市施策への寄与	3	3	3	3	3	3	・大学と連携した施設運営やスタートアップ支援に取り組んでほしい。
	合 計	64	71	73	67	71	69.2	

福岡市産学連携交流センターの概要

1 設立目的

大学その他高度な技術を有する研究機関の研究機能を活かし、国内外の企業及び研究者が連携交流する拠点を形成することにより、新たな産業及び事業の創出並びに地場企業の活性化を図り、もって地域経済の発展に資する。

2 施設概要

(1) 所在地：福岡市西区九大新町4番1号及び5番5号

(2) 面積：敷地面積 8,220 m² (1号棟 4,000 m²、2号棟 4,220 m²)
延床面積 5,916 m² (1号棟 2,417 m²、2号棟 3,379 m²、分室 120 m²)

(3) 主要諸室：

基幹研究室 13室 (1号棟：7室、2号棟：6室)
レンタルラボ 20室 (1号棟：10室、2号棟：9室、分室：1室)
レンタルオフィス 12室 (1号棟：12室)
商談室 3室 (1号棟：2室、2号棟：1室)
交流ホール (1号棟：1箇所)、分析機器室 (2号棟：1箇所) 等

(4) 施設外観



3 利用状況

入居者：研究者や企業等 19団体

4 位置図



5 議案第 219 号

はかた伝統工芸館に係る指定管理者の指定について

1 議案提出の理由

本市が設置するはかた伝統工芸館の管理を行わせる指定管理者を指定することについて、地方自治法第 244 条の 2 第 6 項の規定により議会の議決を求めるものである。

2 議案の内容

- (1) 指定管理者に管理を行わせる公の施設
はかた伝統工芸館
- (2) 指定管理者に指定する者
ラブエフエム国際放送株式会社
代表取締役社長 宮崎 泰
ア 設 立 年 月 日：平成 8 年 4 月 1 日
イ 所 在 地：福岡市中央区今泉一丁目 12 番 23 号
ウ 主 な 業 務 内 容：放送事業
- (3) 指定する期間
令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで（5 年間）

3 公募及び選定の概要

- (1) 主な業務の内容
 - ①施設の運営管理業務
 - ②伝統工芸品振興業務
- (2) 主な応募資格
 - ①法人その他の団体（以下「法人等」という。）又は法人等で構成する共同事業体であること。
 - ②所得税、法人税、消費税、地方消費税及び本市市税の滞納がないこと。
 - ③法人等又はその代表者が、暴力団関係者でないこと。
- (3) 応募団体
6 団体（五十音順）
 - ①株式会社エイチ・アイ・エス
 - ②近畿日本ツーリスト株式会社
 - ③はかた伝統工芸館マネジメント共同事業体
（株式会社 JTB、株式会社 JTB コミュニケーションデザイン）
 - ④はかたよかまち共同事業体
（九州スタッフ株式会社、株式会社ネクストキャリア）
 - ⑤ラブエフエム国際放送株式会社
 - ⑥株式会社リタ
- (4) はかた伝統工芸館指定管理者選定・評価委員会
選定委員 5 名
 - ・〔学識経験者〕 千 相哲（九州産業大学副学長）
 - ・〔学識経験者〕 梅山 香里（中小企業診断士）
 - ・〔利用者代表〕 原田 昌行（博多織工業組合代表理事）
 - ・〔利用者代表〕 川崎 修一（博多人形商工業協同組合理事長）
 - ・〔外部有識者〕 伊賀上 恵子（公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー）

(5) 募集・選定経過

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| ①選定委員会 | 令和7年7月 3日 (募集要項及び業務仕様書の確認) |
| ②募集要項配布 | 令和7年7月17日～9月 5日 |
| (市ホームページからダウンロード) | |
| ③質問の受付 | 令和7年7月18日～7月31日 |
| ④質問の回答 | 令和7年8月12日 |
| ⑤応募書類の受付 | 令和7年7月17日～9月 5日 |
| ⑥選定委員会 | 令和7年9月12日 (応募者ヒアリング、選定) |

(6) 指定管理料の上限額

令和8年度：31,177 千円

4 評価基準・選定結果

(1) 評価基準

審査項目・評価基準		配点
1	安定した管理を行う能力、管理運営方針	25 点
(1)	施設の管理運営の基本方針及び実績	5
(2)	団体の財務状況、経営基盤	5
(3)	管理を的確に行う能力及び管理の体制 (配置する人材、人員数及び勤務体制、職員研修体制等)	5
(4)	施設の保守点検、警備、修繕及び維持管理の考え方、 安全管理のための取組について	5
(5)	リスク管理の方策(災害対策、事故等防止、利用者の苦情等の未然防止と対処方法、個人情報保護の取組)	5
2	管理運営の提案	30 点
(1)	本市伝統工芸品を振興する公の施設の管理運営を行うことについて、理解や意欲が示されているか。	10
(2)	本市伝統工芸品の紹介・販売や、外国人を含めた観光客への対応が図れる体制になっているか	10
(3)	利用者の視点・意見を反映する仕組み	5
(4)	再委託の業務内容、選定先などの考え方	5
3	本市伝統工芸品の振興を効果的に図れる事業の提案	45 点
(1)	市伝統工芸品の紹介や展示方法に関する提案	5
(2)	本市伝統工芸品の情報収集及び提供	5
(3)	工芸館の認知度向上及び、工芸品をPRするための効果的な広報計画(WEB、紙媒体、パネル等)	10
(4)	はかた伝統工芸館への集客につながる企画展、体験講座等の提案	10
(5)	工芸館を核として、観光との連携やビジネスの視点を取り入れながら、市内宿泊施設や飲食店等に伝統工芸品の使用を促すため、博多織・博多人形の産地組合、工芸事業者、個人作家とをつなぐ窓口の提案 (窓口の運営内容、広報手段等)	10
(6)	その他、指定管理者の企画提案	5
4	計画の実行可能性	20 点
(1)	収支計画(収支予算書の妥当性、経費の効率的な配分)	10
(2)	根拠(参考事例や他施設での実績等)がある実行可能性の高い計画となっているか。	10
5	その他(以下の事項を満たしていれば加点)	10 点
(1)	A: 地場企業であり、かつ中小企業であるか。※みなし大企業を除く	5
	B: 地場企業である	3
	C: A、Bに該当しない	0
(2)	市の施策に貢献する取り組みを実施しているか。 ①ふくおか「働き方改革」推進企業に認定されているか。 ②高齢者や障がい者等の雇用拡大施策に貢献すること ③男女共同参画の推進に貢献すること ④その他市の施策に貢献すること	5
総合評価(130 点満点)		

(2) 指定候補者の主な提案

- ・ 伝統工芸の窓口設置で異業種連携を促進
- ・ はかた伝統工芸館を拠点とした観光・地域振興の推進
- ・ インバウンド向け体験型コンテンツの造成
- ・ 次世代承継と新文化とのコラボレーション構築

(3) 選定結果

下記選定委員会の評価を踏まえ、ラブエフエム国際放送株式会社を指定管理者の候補者としたものである。

応募団体名	審査項目	委員別評価点					計	主な評価内容	
		A	B	C	D	E			
<指定候補者> ラブエフエム国際放送株式会社 提案額 31,177 千円	1 安定した管理を行う能力、管理運営方針	20	20	20	21	19	100	・ 現状の課題や博多旧市街エリアにおける工芸館が果たすべき役割を認識している。 ・ 次世代への承継のために伝統工芸と他分野とのコラボレーションを実施するという視点は評価できる。 ・ 全体的に安定感があり、実現性が高い提案であった。	
	2 管理運営の提案	22	23	22	28	24	119		
	3 本市伝統工芸品の振興を効果的に図れる事業の提案	35	34	36	38	34	177		
	4 計画の実行可能性	16	18	18	20	18	90		
	5 その他	10	8	9	10	8	45		
	合 計	103	103	105	117	103	531	平均点	106.2

応募団体名	審査項目	委員別評価点					計	主な評価内容	
		A	B	C	D	E			
<次点> はかた伝統工芸館マネジメント共同事業体 提案額 31,177 千円	1 安定した管理を行う能力、管理運営方針	22	21	17	21	20	101	・ デジタルギャラリーの活用によって空間の最大化を図ろうとする点は良い。 ・ 企業連携部門の専任スタッフにより関係団体との連携を図ろうとしている点は評価でき、双方のビジネスチャンスにつながる。 ・ 実績に基づく実現性の高さがある。	
	2 管理運営の提案	21	26	22	24	22	115		
	3 本市伝統工芸品の振興を効果的に図れる事業の提案	30	42	29	41	34	176		
	4 計画の実行可能性	20	20	16	20	18	94		
	5 その他	0	4	3	4	4	15		
	合 計	93	113	87	110	98	501	平均点	100.2

応募団体名	審査項目	委員別評価点					計	主な評価内容	
		A	B	C	D	E			
A 社 提案額 31,130 千円	1 安定した管理を行う能力、管理運営方針	21	21	19	21	20	102	<ul style="list-style-type: none"> ・DX や AI アバターの活用など新しい取組が多い。 ・工芸作家と積極的に関わりたいという姿勢は評価できる。 ・事業内容が多く、実現可能性に不安がある。 ・教育機能（学びの場）が十分ではない。 	
	2 管理運営の提案	20	29	20	26	20	115		
	3 本市伝統工芸品の振興を効果的に図れる事業の提案	33	40	30	36	31	170		
	4 計画の実行可能性	20	18	16	18	16	88		
	5 その他	0	3	4	4	3	14		
	合 計	94	111	89	105	90	489	平均点	97.8

応募団体名	審査項目	委員別評価点					計	主な評価内容	
		A	B	C	D	E			
B 社 提案額 27,132 千円	1 安定した管理を行う能力、管理運営方針	17	18	16	15	17	83	<ul style="list-style-type: none"> ・博多の魅力を活かし、地域を巻き込もうとする姿勢は評価できる。 ・連携協力先の相手方と内容が具体的に実現性が高い。 ・常時 2 名体制となっており運営に不安を感じる。 ・国内、海外へのアプローチが不足。 	
	2 管理運営の提案	19	27	22	22	18	108		
	3 本市伝統工芸品の振興を効果的に図れる事業の提案	27	43	28	36	27	161		
	4 計画の実行可能性	18	18	16	18	16	86		
	5 その他	10	8	8	9	8	43		
	合 計	91	114	90	100	86	481	平均点	96.2

応募団体名	審査項目	委員別評価点					計	主な評価内容	
		A	B	C	D	E			
C社 提案額 30,835 千円	1 安定した管理を行う能力、管理運営方針	19	21	19	21	20	100	<ul style="list-style-type: none"> ・団体客対応、特に若い世代の集客に重きをおく部分は評価できる。 ・ホテルとの連携によりワークショップを拡大させる可能性を秘めている。 ・伝統工芸振興についての提案が弱い。 ・修学旅行からの展開という視点は良いがそれ以外の視点が薄い。 	
	2 管理運営の提案	22	22	19	25	18	106		
	3 本市伝統工芸品の振興を効果的に図れる事業の提案	31	38	30	39	27	165		
	4 計画の実行可能性	20	20	18	20	16	94		
	5 その他	0	3	3	3	3	12		
	合 計	92	104	89	108	84	477	平均点	95.4

応募団体名	審査項目	委員別評価点					計	主な評価内容	
		A	B	C	D	E			
D社 提案額 30,000 千円	1 安定した管理を行う能力、管理運営方針	17	13	15	17	16	78	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応の体験づくりは、評価できる。 ・集客のために様々な企業と連携、コラボを行い外部へ積極的に進出しようとする姿勢が良い。 ・企業やクリエイターとのつながりはあると思うが、具体性に欠ける。 ・財務、マンパワーに不安がある。 	
	2 管理運営の提案	18	20	18	20	22	98		
	3 本市伝統工芸品の振興を効果的に図れる事業の提案	30	28	28	31	31	148		
	4 計画の実行可能性	18	18	18	18	16	88		
	5 その他	10	8	9	9	8	44		
	合 計	93	87	88	95	93	456	平均点	91.2

※評点については、委員5名の得点を積算する総得点方式（650点満点）によるもの。

はかた伝統工芸館の概要

1 設置目的

福岡市を代表する伝統工芸品である博多織・博多人形、その他の伝統工芸品の紹介、展示、情報提供、販売等を行い、市民や外国人を含めた観光客へ向けて伝統工芸品のPRを行い、本市の伝統産業の継承、発展を図ること。

2 施設概要

- (1) 所在地 : 福岡市博多区博多駅前一丁目 23 番 2 号 ParkFront 博多駅前一丁目 1 階
- (2) 面積 : 専有延床面積 122.68 m²
- (3) 主要諸室 : 常設展示スペース、企画展示スペース、事務スペース

3 実施事業（令和 6 年度） ※所在地は福岡市博物館 2 階（当時）

- (1) 自主企画展、企画展、自主企画イベント
 - ① 自主企画展 合計 15 回
 - ② 企画展（貸出） 合計 16 回
- (2) はかた伝統工芸体験教室
毎週日曜日 14:00～16:00 で開催（博多人形・博多張子・博多織）
- (3) 常設展示室の定期入替え
常設展示品の魅力を効果的に国内外の来館者に伝えていくため、さらにリピーター等来館者へのサービス向上のため、展示品の一部について、半年に一度の定期入替を実施。
- (4) アウトリーチ活動
博多部や市内外にて出張展示販売・体験等を実施。
合計 29 回

4 利用状況（令和 6 年度）

入場者数 91,755 人

6 議案第 253 号 土地及び建物の貸付けについて

1 議案提出の理由

福岡サンパレスの管理運営については、より効率的で柔軟な管理運営能力を有する民間事業者に貸し付けることが最適であるとして、施設運営事業の提案競技を実施のうえで、平成 16 年 10 月から民間事業者に貸付を行っている。

このたび、令和 8 年 4 月 30 日に、当該施設の賃貸借契約期間が満了を迎えることから、それ以降の賃貸借契約を締結するにあたり、その貸付料について、当該施設の機能、事業内容を踏まえ、これまでと同様に、減額のうえ貸し付けることが相当と思料されるため、地方自治法第 96 条第 1 項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

2 議案の内容

(1) 貸し付ける土地

所在地：福岡市博多区築港本町 84 番 4 【15,805.13 m²（電柱の敷地を除く）】

(2) 貸し付ける建物

所在地：福岡市博多区築港本町 2 番 1 号

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 12 階建【延面積 24,372.41 m²】
及びその付帯設備
鉄骨造 2 階建（延面積 429.44 m²）

(3) 貸付価額 月額 1,328,250 円

(4) 貸付けの期間 令和 8 年 5 月 1 日から令和 13 年 4 月 30 日まで（5 年間）

(5) 貸付けの相手方 福岡市博多区築港本町 2 番 1 号
株式会社 福岡サンパレス

3 経緯

○ 福岡サンパレスは、1970 年代、大都市において増加する勤労青少年の福祉の充実を図るため、旧労働省が計画し、福岡勤労者福祉センターとして雇用促進事業団により建設されたもので、昭和 56 年 5 月に開館している。

○ 運営については、同事業団から委託を受けた福岡市が、同じ条件で（財）福岡勤労者福祉センターへ再委託していた。財団が運営していた頃は、ホール事業の収支差を補助金として年額約 2 億円余が支出されていた。

○ その後、平成 13 年に国の行政改革の一環として策定された特殊法人等の整理合理化計画に基づき、全国の勤労者福祉施設が所在地の地方公共団体に有償譲渡されることとなり、福岡サンパレスについても「市民ホール及びコンベンション支援施設」として活用を図るため、平成 16 年に福岡市が取得した。

○ 施設の買い取りに合わせて、施設の運営者を提案競技による公募で選定し、民間事業者に貸し付けることとした。公募に際しては、①施設運営の基本的な考え方とその実現方法、②貸付料、③従業員の雇用計画及び主な労働条件、④事業収支計画などの提案を求め、選定の結果、平成 16 年 10 月に現契約者である（株）福岡サンパレスに貸付を行った。

○ 特に当該施設のホール運営は、採算性の確保が難しい事業であるが、運営の条件として興行的な活用だけでなく、広く市民の利用に供するよう公共施設に準じた運営（使用料の設定や減免措置など）を求めている。福岡サンパレスは、公共ホールとしての役割を遵守し、施設運営について円滑かつ誠実な契約の履行に加え、利用者サービス向上や経営安定化に取り組んでいる。

【参考資料】

【市有財産賃貸借契約書（概要）】

1 契約の相手方	株式会社 福岡サンパレス
2 使用目的	<p>福岡サンパレス運営事業協定に定める事業に限るものとする。</p> <p>【参考：福岡サンパレス運営事業協定書】</p> <p>本件事業に係る賃貸物件の事業目的は、市民ホール及びコンベンション支援施設の運営とし、これらの施設が有すべき機能及び事業内容は、次に掲げるとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール機能 ・ホテル機能 ・コンベンション機能 ・レストラン、カフェバー及び売店事業 ・ウェディング事業 ・音楽スタジオ、CDショップなどの音楽関連事業
3 賃貸期間	令和8年5月1日から令和13年4月30日まで（5年間）
4 賃貸料	月額 1,328,250 円
5 契約保証金	30,000,000 円
6 維持補修・保険	<p>（１）建物本体</p> <p>躯体に関する修繕の費用については、施設所有者である福岡市の負担</p>
	<p>（２）付帯設備</p> <p>付帯設備の維持管理及び軽微な補修、修繕等の費用については、基本的に株式会社福岡サンパレスが負担。</p>
	<p>（３）保険</p> <p>①火災（動産・不動産）保険料及び施設賠償責任保険料は、施設所有者である福岡市の負担。</p> <p>②これ以外の営業、運営等に関する保険にかかる保険料については、株式会社福岡サンパレスが負担。</p>
7 建物の現状変更	株式会社福岡サンパレスが増築、改築、構造の変更等賃貸物件の現状が変わるような工事を行おうとするときは、福岡市の承認が必要。
8 違約金	本契約の義務違反により契約が解除された場合、株式会社福岡サンパレスは年間賃貸料の２倍にあたる額を支払う。
9 仮契約	本契約は、賃貸物件の貸付けに係る福岡市議会の議決を得たときに正式の契約となる。

※下線部は現契約からの変更箇所